

# 内科専門研修プログラム ～ 脳神経内科 ～

春日井市民病院 脳神経内科

# 脳神経内科医が取り組んでいる common disease

- 神経疾患

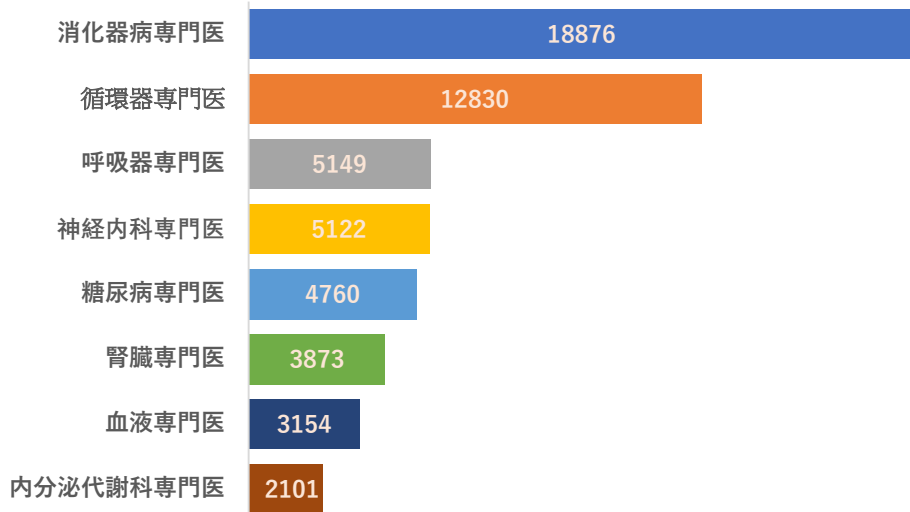
認知症、脳梗塞、頭痛、てんかん、めまい、末梢神経障害、  
脊椎脊髄疾患

- 通常業務として診療するcommon disease :

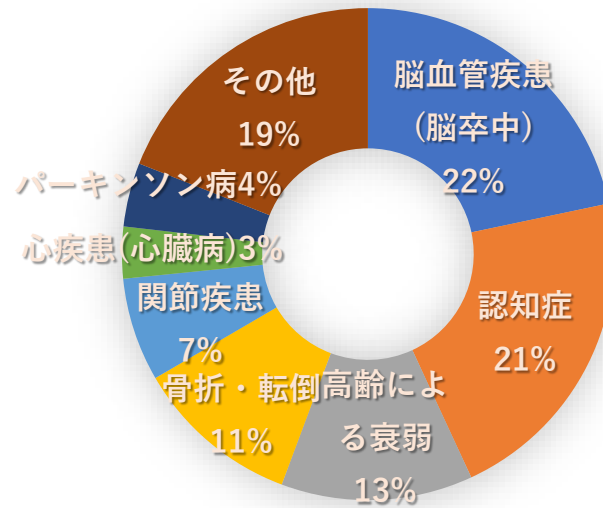
高血圧、脂質異常、糖尿病、肺炎、尿路感染、痛風、心不全、  
甲状腺疾患、精神科疾患、消化管潰瘍、虚血性心疾患、  
肝臓疾患、脳外科疾患など

# 脳神経内科専門医：約5000人

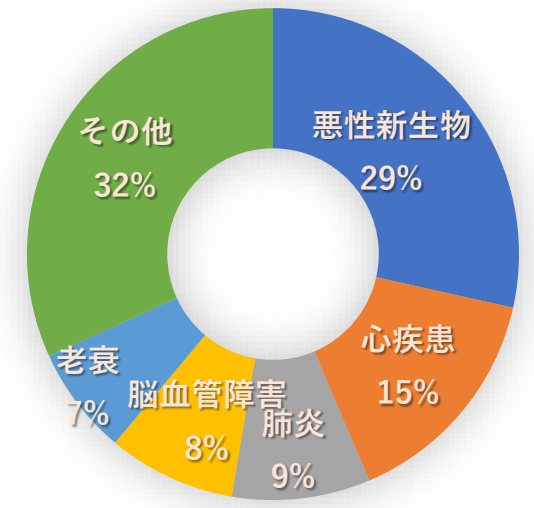
- 人口10万人当たりの神経内科専門医は日本が3.3人、米国は5.4人（米国でも不足と認識）
- 認知症が700万人（要介護原因の第2位）、脳卒中は死因4位で要介護原因の第1位
- てんかんは約100万人（60歳以上の有病率1.5%）
- 神経難病患者：パーキンソン病関連が約14万人、脊髄小脳変性症が約3万人、重症筋無力症と多発性硬化症が約2万人ずつ、多系統萎縮症と筋萎縮性側索硬化症が約1万人ずつ



## 要介護となった原因



## 死因



# 社会のニーズに答える脳神経内科の医師像 (日本神経学会)

## • 基本的能力

- 神経系の解剖と生理を理解する
- 詳細な病歴聴取と神経学的診察で病変を推定する
- 適切な補助診断を選択して診断する
- 適切な治療とケア

## • 臨床的能力

- 神経救急（意識障害・脳卒中・てんかん）の初期診療
- 頭痛、めまい、しびれなどのcommonな訴えに適切に対応できる能力
- 高血圧、糖尿病、心房細動など高頻度内科疾患に適切に対応する能力
- 患者の人生の伴走者として全人的に対応する能力

# 脳神経内科医の多様な活動

- 神経疾患の診療能力を持つかかりつけ医
- rt-PAや脳血管内治療を含む脳卒中急性期の高度医療をする脳卒中内科医
- 高次脳機能障害に精通したリハビリテーション医
- 内科全般に深い知識を持ちつつ、神経疾患診療全般において十分な専門性を発揮できる総合病院の神経内科医
- 難病患者のケアを長期にわたって受け持つ脳神経内科医
- 神経疾患の臨床を理解した研究者（基礎研究・神経病理など）

# 当院の診療体制・活動

- 当院は名古屋大学脳神経内科の関連病院の一つであり、現在スタッフは5名の診療体制
  - 日本神経学会認定教育施設
  - 日本脳卒中学会認定研修教育病院
  - 日本認知症学会教育施設
- 日本神経学会では今後5年以内に専門医制度における基本領域化を目指す方針
  - 3年目には名古屋大学脳神経内科に入局、大学と連携を取りながら研修を進める

# 当院の診療体制・活動

- 外来および入院患者の診療：
  - 当院は年間に約4000名の初診外来患者、約20000名の再診外来患者、700~800名の入院患者がある
  - 症例は多彩かつ豊富で、当科では以下の2点に力を入れている
    - ① 脳梗塞の入院患者は年間約400名あり、発症4.5時間以内の脳梗塞rt-PA治療は年間約100例の実績がある（愛知県内で最も多い）
    - ② 認知症に関してはもの忘れ外来を設置、患者は非常に多く年間約500名の初診患者がある
- 学会や研究活動：
  - 日本神経学会、日本脳卒中学会、日本神経治療学会、日本内科学会で適宜発表、学会誌への論文投稿など

# 脳神経内科志望の先生への想い

患者家族の話をじっくり聞き見て常に考える、医療はチームであり自分がまず何をすべきか・何ができるかを考える、こういった姿勢で患者家族とともに病を乗り越える想いで頑張る若手医師を期待しています